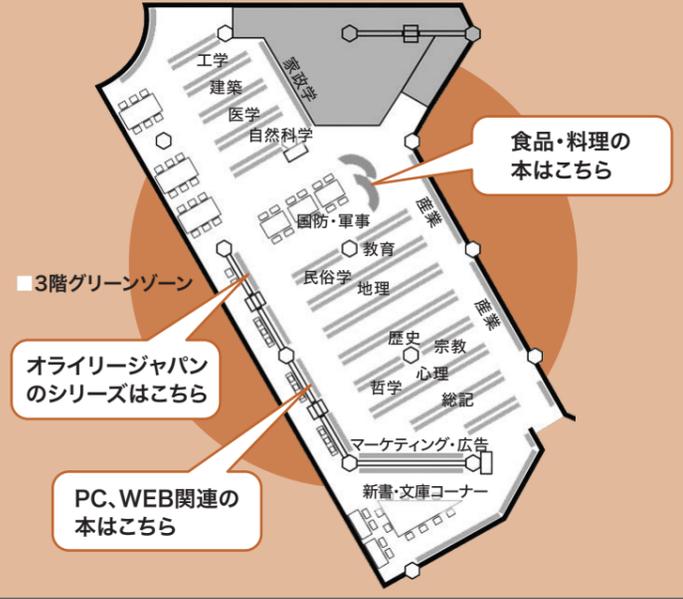


LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

本の場所を移動しました。

お探しの資料をさらに使いやすくするために、3階グリーンゾーンのデジタル関連資料や食品・料理の本を移動しましたのでご紹介します。



8月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 『競争社会の光と影』(～11/13) **NEW!**
私たちの社会では競争は避けられず、常に勝者と敗者が生まれています。各界の中から記憶に残る人々を選び、彼らの生き方や言葉から、人生の危機を乗り越えるためのヒントを探る展示です。

2F パープルゾーン 『ひんやり』(～8/30) **NEW!**
夏本番。今年はマスクが外せず、例年にも増して厳しい夏になりますね。せめてひとときの涼を感じていただけるよう「ひんやり」をキーワードに本を集めました。

3F ブルーゾーン 『HIBIYA NOTE-日比谷の音はボーダレス。-』(～10/16)
「ボーダレス」をテーマに音楽にまつわる資料を自由に選書し、ジャンルや時代による分類を行わずランダムに展示します。また、スタッフの日々の暮らしの中にある音楽(所有する楽器やライブの思い出など)を写したスナップ写真を掲示し、音楽の楽しさや自由を伝えます。

3F グリーンゾーン 『考えてみよう』(～9/18)
2020年はあらゆる意味で人々の記憶に残る年となりそうです。この機会に、身近なことから世界規模の問題まで、先人の知恵を借りながら「考える」ということを始めてみませんか?

3F エレベーターホール 日比谷カレッジ関連展示 林野庁×日比谷ビジネスSDGs **NEW!**
『なぜ今、都会で山林を考えるのか?』(8/10～9/30)
国土の7割を占める森林や林業について、あるいは木のある暮らしや森の知恵について楽しく学べるコーナーです。(協力:林野庁)

展示 PICK UP

■2Fパープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ～11/13(金)

競争社会の光と影

本は、僕たちの内部の凍結した海を砕く斧でなければならない。

オスカー・ボラック宛書簡 1904年1月27日より
フランツ・カフカ 「フランツ・カフカ 夢・アフォリズム・詩」 平凡社 2016年11月 P314～315

自分と身近な人との明暗が分かれたと感じるのはとてもつらいことですが、現代の競争社会では常に勝者と敗者が生まれています。各界の著名人たちの言葉や生き方から、逆境を乗り越える癒しやパワーをもらってみませんか?

敗者が変えた世界史上・下
ジャン＝クリストフ・ヒュイツン エマニュエル・エシュト 著 清水 珠代 訳 原書房 2019年

NHKラジオ深夜便 絶望名言
頭木 弘樹 著 飛鳥新社 2018年

マグロ大王 木村清
『マグロ大王 木村清 だめだと思った時が夜明け前』 木村清 著 講談社 2016年

この夏は本で旅する。

「新しい生活様式」で旅行もままならない中で、迎える夏。憧れのあの場所へ、本の力で旅してみませんか?

終着駅
宮脇 俊三 著 河出書房新社 2009年

『一〇〇年前の世界一周』
ワルデマール・アベグ、ボリス・マルタン 著 日経ナショナルジオグラフィック社 2009年

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館企画展示 **デジタル読書を楽もう!!**

読むのを後回しにしていた本や気になっていた趣味の本などを、思い出したときにすぐに読むことができたり、ぶ厚い本や借りて帰れない貴重書も気軽に開くことができたりする電子書籍。音声や動画再生機能など電子書籍ならではの便利な機能があるのも特徴です。本展では、千代田Web図書館をベースに、子どもから大人まで楽しめる電子書籍の紹介や利用方法をパネルで解説するとともに、関連本を100冊以上展示・貸し出します。

期間: 7月27日(月)～9月26日(土)
※8月23日(日)は休館
場所: 千代田図書館9階 展示ウォール

展示図書

- 『江戸名所図会』 (1836年)
- 『江戸三十六城門画帖』 (1896年)
- 『最新 東京名所写真帖』 (1889年)
- 『風俗画報』 (1893～1906年)
- 『辰之口勸工場庭中之図(錦絵)』 (1877年) ほか

開催概要

●会期: 7/21(火)～9/30(水)
※休館日: 8月17日(月)、9月21日(月)

●開室時間: 平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日曜・祝日 10:00～16:00

●会場: 4階特別研究室



▲江戸城の城壁と北門 (W、ハイネ・A、ベルク画 『オイレンプルク遠征図録』 / (1864～1873年)

【関連講座】古書で紐解く近現代史セミナー第36回

9/11(金) **かんこうば 勸工場の時代～江戸の商慣行と百貨店の狭間で**

1877年の第1回内国勸業博覧会の後、現在の丸の内にわが国初の勸工場が設立されました。一世を風靡したこの新たな形態の商品陳列所について、資料に基づきながらその後の発展と衰退をたどり、城下町江戸から帝都東京へと移り変わる都市の歴史の中での位置づけを考察します。

▲「辰之口勸工場庭中之図」吟光

■講師: 西木 浩一 (東京都公文書館 課長代理(史料編さん担当))

■日時: 9月11日(金) 19:00～20:30 (18:30開場)

■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■参加費: 1000円(千代田区民・学生500円) ※千代田区民・学生の方は、住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。

■定員: 60名

■申し込み方法: 電話(03-3502-3340)、ホームページ申し込みフォームのいずれかにて、参加希望の講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2020年8月							2020年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

access

〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」 A7出口 徒歩3分

〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

8・9月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

8/5 一枚の写真、一冊の本が世界を動かす

ローマ教皇がメッセージを託した「焼き場に立つ少年」はいかにして世に出たのか。

講師：大原 哲夫(大原哲夫編集室代表)

ローマ教皇がカードにして配布した一枚の写真、「焼き場に立つ少年」。そして、そのきっかけになったといわれる写真集『トランクの中の日本』。アメリカ軍の従軍カメラマン、ジョー・オダネル氏が原爆投下後の長崎、広島などで撮影した写真はいかにして本として世に出たのかを語ります。

- 日時：8月5日(水) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：60名
- 参加費：1000円 ※3月26日(木)の講座が延期されたものです。



「焼き場に立つ少年」(写真集『トランクの中の日本』より)

8/26 日本の天文学、日本の星空

講師：皆川 敏春(星のソムリエ*みたか) / 北崎 直子(星のソムリエ*みたか)

私たち日本人が星空に目を向けたのはいつ頃のことだったのでしょうか？そのきっかけはなんだったのか？そしてどういった思いを星空に投影していたのでしょうか？今回は日本の星のルーツを、江戸～明治にかけて西洋文明とのかかわりの中でひもといてみましょう。



撮影：皆川 敏春氏

- 日時：8月26日(水) 19:00～21:00(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円

8/27 誰が見ても分かる配色を カラーユニバーサルデザインの話

講師：伊賀 公一(色弱者 カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長)

世界中に3億人以上いると言われる色弱者はどんな色の世界に生きており、どうやって生活しているのか。赤と緑が同じ色に見えるとどういことがおきるのか。誰もが安全で安心して暮らせる社会にするためにはどんな色を使えばいいのか。色覚制限で進学や進路を阻まれながらも色彩について学び自治体や企業に配色のコンサルティングを行っている講師が、お話しいたします。



- 日時：8月27日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円
- ※5月19日(火)の講座が延期されたものです。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

8/31 江戸歴史講座 第66回 芭蕉のことは遊び

講師：深沢 眞二(連歌俳諧研究者・文学博士)

芭蕉句「昼顔に米つき涼むあはれ也」「蛸壺やはかなき夢を夏の月」「辛崎の松は花より朧にて」「月影や四門四宗も只一ツ」……いずれも古典を踏まえたくつ遊びの要素を持っています。古典文学のもじり・パロディとして、芭蕉発句を読み直す試みをお話します。

- 日時：8月31日(月) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民 500円)
- ※4月22日(水)の講座が延期されたものです。



9/3 江戸文化歴史検定×ジャパンナレッジ講演会 お江戸ルぼーりー文化講座⑧ 徳川将軍15代～名前を全員覚えよう～

講師：堀口 茉純(歴史作家、タレント)

家康、吉宗、慶喜だけじゃない！—お江戸ル(お江戸のアイドル)ぼーりーこと堀口氏による江戸講座。徳川将軍15人の人生を描いた著書『TOKUGAWA15』をベースに将軍それぞれのパーソナリティを解説。食事、恋愛などといった日常生活にもクローズアップ。(主催：株式会社ネットアドバンス、共催：日比谷図書文化館)

- 日時：9月3日(木) 19:00～20:30 (18:30開場) ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



9/4 千代田区内ミュージアム連携企画 「はにわ」の世界を探る

—茨城県・舟塚古墳の埴輪群を例に—

講師：忽那 敬三(明治大学博物館 学芸員)

人物や動物、家、武器武具などを表現した古代の「はにわ(埴輪)」は、およそ1500年前に権力者たちの墓の上に立て並べられました。1か所から出土した埴輪の展示としては都内でも最大級の明治大学博物館の舟塚古墳を例に、埴輪に表現されたまつりの様子と、そこにこめられた意味について紹介します。

- 日時：9月4日(金) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※3月10日(火)の講座が延期されたものです。



足置きの板がつく鞍を表現した珍しい馬形埴輪(明治大学博物館提供)

9/9 電子書籍・電子図書館の未来

講師：植村 八潮(専修大学文学部教授・博士(コミュニケーション学))

コロナ禍は私たちの日常を大きく変えました。今、場所や時間を選ばず非対面で利用できる電子書籍・電子図書館が注目されています。音声読み上げや文字の拡大機能など便利な機能も備え、ますます私たちの生活に浸透していくでしょう。それは“本を読むこと”にどんな変化をもたらし、紙の本はどうなっていくのか。日本の電子書籍の研究・普及・標準化に長らく携わってきた講師と本の未来を考えます。

- 日時：9月9日(水) 19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円



9/23 林野庁×日比谷ビジネスSDGs なぜ今、都会で山林を考えるのか？

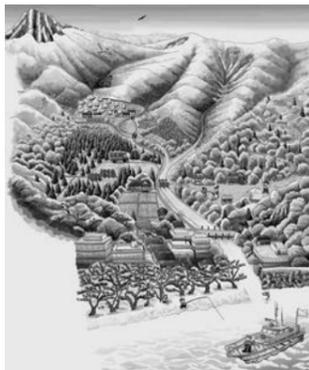
～『森林・林業白書』と多業種の木材利用や森林活用参入に学ぶ～

講師：河南 健(林野庁)、関本 和彦(TDKラムダ株)、小林 道和(㈱竹中工務店)

森林は水を育み、気候変動の緩和や災害の防止、リラックス効果など多機能を持ち、木材の利用や森林空間の活用は私たちの暮らしの持続可能性を高めます。6月に公表された『森林・林業白書』から現状と将来像を学び、企業の先進的取り組み事例に学びます。

(協力：林野庁)

- 日時：9月23日(水) 19:00～20:45 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名 ■参加費：1000円
- 申込開始：8月10日(月・山の日)



イラスト「北の森漫画」より 平田美紗子

9/24 展示会への入口講座 Vol.30 千代田区内ミュージアム連携企画

「もうひとつの江戸絵画—大津絵」展の見どころとその背景

講師：田中 晴子

(東京ステーションギャラリー学芸室長)

江戸期の安価な土産絵、大津絵。近代になり、多くの文化人たちを惹きつけ、文人画家の富岡鉄斎、洋画家の浅井忠、民藝運動の創始者である柳宗悦など、当代きっての審美眼の持主たちが、おもに古い大津絵の価値を認め、所蔵しました。大津絵について、旧蔵者について、さらに展示会の裏話なども紹介します。

- 日時：9月24日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民 500円)



『鬼の行水』日本民藝館蔵

古文書塾でらこや2020年4月期8月講座

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾でらこや」。多種多様な講座を開講します。



● 入門コース (全2回) 120分

講座名	曜日・時間	日程
古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	8/24 9/7 —
	(月) 13:30～	8/24 9/7 —
	(火) 10:30～	8/4 9/15 —
	(火) 10:30～	8/18 9/1 —
	(火) 13:30～	8/4 9/15 —
	(木) 13:30～	8/20 9/3 —
	(金) 13:30～	8/28 9/11 —
(金) 18:30～	8/28 9/11 —	
いろはの次 — 大江戸大変	(月) 18:30～	8/24 9/7 —
いろはの次 — 江戸時代の海外知識	(金) 10:30～	8/21 9/4 —

● 本科コース (全2回) 120分

講座名	曜日・時間	日程
文人画と碑文 一掛軸を読む	(日) 13:30～	8/2 8/30 —
武家文書を読む 一幕府崩壊事情	(水) 13:30～	9/2 9/16 —
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30～	8/1 8/22 —

● 特設月1回コース (全2回) 120分

講座名	曜日・時間	日程
『源氏物語 若紫』を読む[翻訳者育成講座]	(土) 14:00～	8/8 9/12 —

● 特別講座 (全3回) 90分 ※「江戸を楽しむ 江戸の寺社あれこれ」は全2回

講座名	曜日・時間	日程
大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	8/18 9/1 9/15
開国ニッポンの外国人—ドキュメンタリー—それぞれの人生	(水) 13:30～	8/5 8/26 9/9
商家文書を読みとく—三井の子弟教育	(水) 19:00～	8/5 8/26 9/9
和本の世界を楽しむ—江戸時代本屋の仕事	(木) 13:30～	8/6 8/27 9/10
江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ ※	(木) 18:30～	9/10 9/17 —
花街のおもてなし—上七軒、はんなり文化の伝承	(木) 19:00～	8/20 9/3 9/17
江戸・明治の書状を読む—形式と内容—歩から	(金) 18:30～	8/7 8/21 9/4
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	8/1 8/22 9/5

- 期間：8月1日(土)から順次開講
- 会場：4階セミナールーム(会議室)、4階スタジオプラス(小ホール)、地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：各23名(事前申込順)
- 参加費：【入門コース】【本科コース】各6,720円(全2回/各回120分/別途資料代200円)【特設・月1回コース】【翻訳者育成講座】6,720円(全2回/各回120分/別途資料代200円)【特別講座】各8,190円(全3回/各回90分/別途資料代300円)※「19. 江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ」は5,460円(全2回/各回90分/別途資料代200円) ※翻訳者育成講座には別途テキスト国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』(税込1,512円 2016年 新典社)が必要です。(当館でのご用意も承ります。) ※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
- 資料請求・講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340)日比谷図書文化館 古文書塾でらこや担当迄

ご来館の皆さまへのお願い

- 館内では常時マスクの着用をお願いします。
- 入館の際には、手指消毒・検温・入館票をご記入ください。
- 館内での滞在時間は短時間、閲覧席は2時間以内のご利用をお願いします。
- ソーシャルディスタンス確保のため、館内の席数を減らしています。



詳細については、千代田区立図書館ホームページにてご確認ください。